

2 募集内容

募集内容

1) 平成 29 年度新規研究テーマ

本県農林水産業の発展に役立つ

- ①新品種の開発
- ②高品質生産技術の開発
- ③低コスト・省力化技術の開発
- ④温暖化対応技術の開発
- ⑤その他

2) 実施中の研究について、内容の修正や成果普及の迅速化等のご意見

※詳しい研究内容は県ホームページの「農林水産総務課研究推進室」に掲載しています

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/index.htm>

募集対象者

- ・農林水産関係者（市町村、農協、森林組合、漁協、生産者 他）
- ・一般（本県農林水産業の発展に関心のある県内外の団体または個人）

募集期間

平成 28 年 12 月 27 日～平成 29 年 1 月 31 日（研究推進室必着）

応募方法

応募様式に必要事項を記入のうえご応募願います

（メール、FAX、郵送）

※応募様式は県ホームページの「農林水産総務課研究推進室」に掲載しています

提出先

和歌山県農林水産部農林水産総務課研究推進室

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL：073-441-2995




FAX：073-433-3024

メール：e0701003@pref.wakayama.lg.jp

その他

- ・研究期間は概ね3年以内です
- ・新規研究テーマは和歌山県議会において平成29年度当初予算承認後に決定します

農業試験場

研究テーマ（実施年度）	研究概要
エンドウを加害するウラナミシジミの緊急防除技術開発(H26～28)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇ウラナミシジミの発生予察手法を開発 ◇防虫ネットを活用した防除技術を開発、総合防除の現地実証
イチゴ県育成新品種の栽培技術開発(H27～29)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇新品種候補3系統の現地適応性試験を実施 ◇新品種に適した花芽分化促進技術等を開発
水田転換畑を利用した種ショウガ生産技術の開発(H28～30)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇県内水田転換畑での種ショウガ栽培技術の確立 ◇栽培管理マニュアルの作成
‘まりひめ’高設栽培の低コスト・多収技術の開発(H28～30)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇和歌山方式イチゴ高設栽培システムの低コスト化 ◇‘まりひめ’の高品質多収高設栽培マニュアルの作成
計画出荷を目指したスプレーギク等花きの開花調節技術の開発(H28～30)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇夏秋型スプレーギクの品種育成と安定開花技術開発 ◇ストックの開花調節による作型開発

暖地園芸センター

施設野菜花きの省エネルギー技術開発(H26～28)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇ミニトマトの局所加温技術を開発 ◇高断熱性資材(布団資材)を利用した施設の保温性向上
スターチスの低コスト新育苗技術開発(H27～29)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇クーラー育苗期間を短縮して経費を削減 ◇根鉢軽減資材による生育促進技術を開発
低コスト環境制御によるミニトマトの高品質多収生産技術の開発(H28～30)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇高糖度ミニトマトに適したCO2施与法の確立 ◇CO2施与と温湿度管理で秀品率、糖度、収量アップ
スターチスとエンドウの新品種開発(H28～30)	 <ul style="list-style-type: none"> ◇低温でも収穫本数が多いスターチス新品種の育成 ◇草丈が短く作業性の良い実エンドウ新品種の育成

果樹試験場

豪雨条件下における温州ミカン黒点病の発生要因解明と防除対策 (H26～28)		◇人工降雨装置を用いた発病条件の解明 ◇降雨データを用いた防除支援システムの開発
県オリジナル中生品種'きゅうぎ'の越年出荷技術の確立(H27～29)		◇苗木の生育特性解明と枝梢管理技術 ◇食味の良い'きゅうぎ'の簡易貯蔵技術を確立
県オリジナル極早生ウンシュウミカンの高品質安定生産技術の確立 (H27～29)		◇YN26高品質生産のための生育モデル作成 ◇ゆら早生における適正水分の解析と灌水法
シカ・イノシシ生態の地域特性解明と効率的捕獲技術確立(H27～29)		◇シカとイノシシの生態について地域特性を解明 ◇傾斜地に対応するハイブリッド囲いワナを開発
カンキツ新品種の育成 (H28～30)		◇極早生ミカン・超晩生ミカンの育成 ◇交雑品種登録候補の現地試験




かき・もも研究所

イチジク株枯病の防除対策 (H26～28)		◇抵抗性台木の現地適応性を調査 ◇薬剤・台木・土壌改良等を組み合わせた総合防除技術の開発
かきオリジナル品種の開発 (H28～30)		◇優良系統の品種登録に係る特性を調査 ◇優良系統の栽培特性及び収穫適期を解明
もも'川中島白桃'等の果肉障害対策技術の開発 (H28～30)		◇果肉障害軽減に効果的な着果管理、水分管理等検討 ◇普及可能な果肉障害軽減技術の確立

うめ研究所

ウメ新品種'橙高'の色・機能性を活かした生産加工技術開発 (H26～28)		◇カロテノイド含量を高めるための栽培方法の開発 ◇マヨネーズ風ドレッシング等の新加工食品の開発
ウメ栽培の低コスト化技術の開発と総合実証(H27～29)		◇減肥・減農薬・摘心技術による低コスト総合実証 ◇安定同位体窒素を用いて肥料吸収特性を調査






畜産試験場

<p>「赤身が旨い熊野牛」生産技術開発 (H27～29)</p>		<p>◇ヘルシーで美味しい熊野牛生産技術を開発 ◇ミカンジュース粕など県特産食品副産物を飼料に活用</p>
<p>熊野牛受精卵のフィールド採取・凍結 技術の構築(H27～29)</p>		<p>◇フィールド(農家)での簡易採卵手法を確立 ◇簡易型プログラムフリーザーを試作</p>
<p>霜降り豚肉&イノブタ肉のエコフィード による高品質安定生産技術の開発 (H28～30)</p>		<p>◇飼料成分が霜降り豚肉生産に及ぼす影響を解明 ◇霜降り豚肉の生産技術の安定化による増産</p>

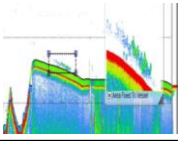


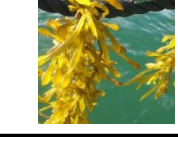

養鶏研究所

<p>紀州龍神地鶏(卵肉兼用種)開発プロ ジェクト(H27～29)</p>		<p>◇龍神地鶏は旧龍神村において300年以上保存 ◇別種との交雑により、新たな地鶏ブランドを創出</p>
<p>ウメ種子活用による養鶏臭気対策 (H27～29)</p>		<p>◇ウメ種子は臭いを吸着する能力が高い ◇脱臭効果を活用して鶏糞堆肥製造試験を実施</p>

林業試験場

<p>スギノアカネトラカミキリの低コスト被 害抑止技術開発(H26～28)</p>		<p>◇若齢林における枯枝発生形態と被害リスクの関係解明 ◇枝打ち回数低減等による低コスト防除技術開発</p>
<p>ヒノキ実生コンテナ苗の育成技術開 発(H27～29)</p>		<p>◇コンテナ苗は年中植栽可能で活着は良いが高価格 ◇低コスト化のための直接播種技術の開発</p>
<p>森林防護柵を活用したシカ誘導捕獲 技術の開発(H27～29)</p>		<p>◇森林防護柵を周回することが多いシカの行動調査 ◇森林防護柵を周回するシカを効率的に捕獲</p>
<p>紀州材構造用床パネルの開発 (H28～30)</p>		<p>◇紀州材の厚板を用いた床パネルの製造◇強度試験 ◇性能確保のための施工マニュアルの作成</p>
<p>ウバメガシ萌芽のシカ採食防止技術 の開発(H28～30)</p>		<p>◇ウバメガシ伐採株のシカ防除方法を開発 ◇被害状況からシカ防除基準を作成</p>

水産試験場

<p>イワシ・アジ・サバ類の漁場形成機構の解明と魚群速報の発信 (H26～28)</p>		<p>◇漁場形成機構を解明するための漁海況データの解析 ◇イワシ・アジ・サバ類の魚群速報発信マニュアルを作成</p>
<p>藻場再生をめざした「ブダイ」の食害対策技術の開発(H27～29)</p>		<p>◇バイオテレメトリーシステムを利用したブダイの行動生態把握 ◇ブダイの効果的駆除手法の開発とその効果把握・利用促進</p>
<p>アユ種苗における冷水病対策技術の開発(H27～29)</p>		<p>◇冷水病菌の高感度検出技術を開発 ◇除菌技術やワクチン開発により被害を低減</p>
<p>地域で取り組めるヒジキ種苗生産技術の開発(H27～29)</p>		<p>◇受精卵からの大量種苗生産技術を開発 ◇漁業者等が取り組める種苗生産マニュアル作成・普及</p>
<p>スマの種苗生産および中間育成に関する低コスト化技術の開発 (H28～30)</p>		<p>◇種苗生産の安定化、低コスト化 ◇中間育成時の効率的な飼育条件を解明</p>